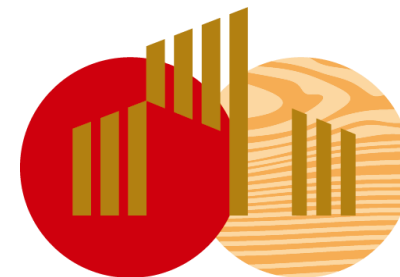


令和7年度 日本製材技術賞 開催結果について



木材のチカラが、
この国の街づくりを変える。



【実施状況】

◆応募数：151工場（40都道府県）

◆賞：・農林水産大臣賞 1 点 ・林野庁長官賞 2 点
・（一社）全国木材組合連合会会長賞 4 点
・審査委員会特別賞 3 点

◆実施期間：〈募集期間〉 7 月 16 日～ 7 月 31 日
 〈事前審査〉 8 月 1 日～ 8 月 7 日
 〈本審査〉 8 月 8 日～ 9 月 22 日
 〈現地調査〉 10 月 1 日～ 10 月 27 日
 〈審査委員会〉 10 月 31 日



【受賞工場】

〈農林水産大臣賞〉 岸田木材株式会社（富山県）

〈林野庁長官賞〉 ・ 山下木材株式会社（岡山県）

・ 株式会社さつまファインウッド（鹿児島県）

〈一般社団法人全国木材組合連合会会長賞〉

・ 株式会社ヤマムラ（山形県） ・ 株式会社滝川（愛知県）

・ 三河材流通加工事業協同組合（愛知県） ・ 株式会社三栄（兵庫県）

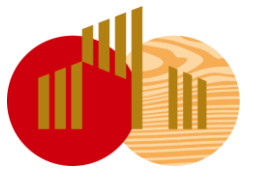
〈審査委員会特別賞〉

・ 協同組合いわき材加工センター（福島県）

・ NISMOC株式会社（徳島県）

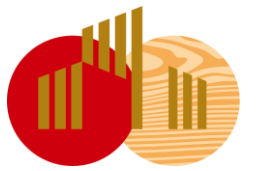
・ 株式会社サイプレススナダヤ（愛媛県）

〈奨励賞〉 40工場 ※次頁参照



【奨励賞一覧】

都道府県	工場名	都道府県	工場名	都道府県	工場名
北海道	オムニス林産共同組合	東京都	有限会社中嶋材木店	京都府	坂矢木材株式会社
北海道	株式会社佐藤 製材工場	新潟県	株式会社坂詰製材所 製材工場	兵庫県	株式会社しそうの森の木
北海道	三津橋産業株式会社 針葉樹製材工場	新潟県	吉井木材工業株式会社	奈良県	西垣林業株式会社
青森県	齋藤木材株式会社	福井県	永和パネルプレカット協同組合	広島県	中本造林株式会社
岩手県	株式会社川井林業 雫石工場	長野県	齋藤木材工業株式会社 林材工場	徳島県	有限会社時本製材所
岩手県	けせんプレカット事業協同組合	長野県	都築木材株式会社	高知県	協同組合高幡木材センター
宮城県	株式会社タカカツ建材(製材工場)	長野県	瑞穂木材株式会社	高知県	梶原町森林組合
宮城県	株式会社ヤマコ佐藤	岐阜県	有限会社倉地製材所	熊本県	幸の国木材工業株式会社
宮城県	株式会社山大(ウッドミル)	岐阜県	株式会社トーホー	熊本県	中村製材株式会社
山形県	相原木材株式会社	岐阜県	飛騨高山森林組合新宮工場	大分県	佐伯広域森林組合
山形県	株式会社阿部製材所	岐阜県	長良川木材事業協同組合	大分県	瀬戸製材株式会社
山形県	株式会社庄司製材所	静岡県	株式会社フジイチ	大分県	株式会社武内製材所
山形県	有限会社渡部製材所	愛知県	桑原木材株式会社		
栃木県	株式会社渡辺製材所	愛知県	昭典木材株式会社		



農林水産大臣賞 ●岸田木材株式会社（富山県）

【受賞理由】

高い木材加工技術と乾燥設備等の積極的な導入によって、芯去り平角材の安定生産を実現するとともに、化粧材・板倉材などの高付加価値品を展開し、大径化が進むボカ杉と呼ばれる地元産材を「ひみ里山杉」としてブランド化と利用拡大に貢献。また、ロシア材等の外材を国産材へ転換する一方で、米国輸出を意欲的に進めるなど、多方面で高く評価された。

林野庁長官賞

●山下木材株式会社（岡山県）

【受賞理由】

蒸気式乾燥機による高温短時間の木材乾燥により、色艶を保ちつつ、内部割れの少ない商品化を実現。強度検査ラインの導入等によりスギ・ヒノキの多品種においてJAS認証材の供給を可能とし、製材からプレカットまでの一貫生産により利用者の信頼を得る取組が高く評価された。

●株式会社さつまファインウッド（鹿児島県）

【受賞理由】

九州一円の協力会社と協働で国産材が使われていなかった2×4工法用の新たな市場を開拓。天然乾燥工程を取り入れることで、人工乾燥期間を約半分に短縮し、品質の安定化に加え、エネルギー消費の抑制を実現。また、高い寸法精度や全数検査による品質管理の徹底等の取組が高く評価された。



一般社団法人全国木材組合連合会会長賞

●株式会社ヤマムラ（山形県）

【受賞理由】

一部の構造材を大手プレカット工場と連携してストックし、注文に応じて出荷対応する生産システムに一部シフト。JAS認証工場として、特に非住宅の需要を取り込む供給体制づくりの取組が評価された。

●三河材流通加工事業協同組合（愛知県）

【受賞理由】

技能実習生の採用や積極的な設備投資に加え、接着たて継ぎ材のJAS認証を取得するための体制整備を進めるなど、製材品の生産規模の拡大を図る取組が評価された。

●株式会社滝川（愛知県）

【受賞理由】

H:12m、W:1,100mmに対応した製材機を新たに導入し、地域産の大径材利用に努めるとともに、自然素材にこだわった自社の建築業でも自社製材品を使用するなど、地域に根付いた取組が評価された。

●株式会社三栄（兵庫県）

【受賞理由】

消費地に近い都市部の製材所として、内装・什器類等の供給を増やすとともに、施設整備等において積極的に地域材を提案するなど、都市部の木造・木質化に貢献している点が評価された。



審査委員会特別賞

●協同組合いわき材加工センター (福島県)

【受賞理由】

スギの大断面360mm角や広葉樹材の構造認定を取得し、地域産材の非住宅木造建築等への新たな利用拡大に繋がる取組が高く評価された。

●株式会社サイプレススナダヤ (愛媛県)

【受賞理由】

多様な品目のJAS認証を取得し、一部を除き製材品の全てをJAS格付けを行うとともに、地域材認証事業にも参画して地域材生産にも取組んでいる点が高く評価された。

●NISMOC株式会社 (徳島県)

【受賞理由】

積極的な設備投資等により、少量多品種・ジャストインタイムの体制を整備し、出荷量の約8割をホームセンター向けに販売展開している取組が、今年度課題の「新規顧客の開拓」の中で最も高く評価された。